

【草花の部屋】

セキチク（ナデシコ科ナデシコ属 *Dianthus chinensis* L.）

和名：セキチク（石竹）

別名：カラナデシコ（唐撫子）

英名：China pink

ナデシコ目 多年草

原産地：中国

花言葉：女性の美

花色：赤、白、桃、他



← 写真-1 セキチク

撮影日：2019年05月08日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 セキチクの花

撮影日：2019年05月08日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-3 セキチクの花

撮影日：2019年06月04日

撮影場所：和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



ご近所を散策中に、家庭菜園の一角に咲いているのを見つけました。ナデシコの仲間？と思いつつ、栽培されている方に訪ねると、ナデシコですとの返事。調べて見ると、ナデシコの仲

間には間違いないようでしたが、セキチクでした。

葉が竹に似ていることからこの名がついたといわれているようで、日本へは平安時代に中国から入ってきたもので、源氏物語にも「唐なでしこ」の名前ででています。その後は草丈と花の大きさによって区別される三寸セキチク、五寸セキチクなどの品種が育成されてきたそうです。

ヨーロッパでは1716年に栽培されており、1860年代には日本から導入されたトコナツ(常夏)を中心に品種改良が行なわれ、その後も世界各地で多くの品種が育成されたそうです。現在では、アメリカナデシコなどとの交配品種が栽培の主体となっているそうです。

花色が派手なうえに、株を覆うように咲くので花壇に植えると大変目立ちます。開花時期は種をまく時期によって少し変わり、春に種をまいた場合は6~8月頃に、秋に種をまいた場合は4~7月頃に開花時期を迎えます。

花の周りはギザギザとしていますが、ナデシコとセキチクとの区別は、難しいようです。セキチクは花卉の切れ込みが浅めで、背丈も低め、なでしこは花卉の切れ込みが深く、背丈が長いと言われることもあるそうですが、セキチクでも背丈が高いものもあります。写真の品種の背丈は約30~40cmで、背丈の高い品種のようです。

今では、なでしことセキチクを交配させた品種も出回っていますので、区別はかなり難しいといえるそうです。